

「モアイは語る」目標および評価規準

目標	地球の未来について関心をもち、文章の構成に着目しながら、事実や根拠を正確に読み取ることができる。 筆者の意見を理解し、モアイの立場で地球の人々に語りかけるように、自分の知っている環境の知識などを根拠にした意見文を書くことができる。		
評価規準	国語への関心・意欲・態度	読む能力	言語についての知識・理解・技能
	遺跡から未来を考えるとという筆者の視点に着目し、積極的に文章を読もうとしている。	写真や図と本文を対応させながら読み、文章構成をとらえ、イースター島と地球を重ね合わせて、地球の未来を語る筆者の主張を通して、自分の意見をもつことができる。	文脈中での語句の意味とキーワードを的確にとらえて要約することができる。

指導と評価の計画（「モアイは語る」4時間扱い）

過程	時間	評価規準			
		国語への関心・意欲・態度	読む能力	言語についての知識・理解・技能	
導入	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>「モアイ」という言葉を聞いたことのある生徒は多いと予想されるので、知っていることはどんなことでも自由に発表させる。</li> <li>「モアイは語る」という題名から、モアイが何を語るのかという問いかけをして読みへの意欲をもたせる。</li> <li>発問の意味が分からない生徒がいなければ確認する。</li> <li>形式段落に分け、段落ごとに発問に対応させながら、内容を読み取る意識をもたせる。</li> <li>答えに当たると思われる部分には、教科書に目印を付けさせる。</li> <li>全文を読みながら、発問で求められている情報を正確に読み取って書き抜かせる。</li> <li>発問に対する答えに当たる部分を正確に抜き書きするようにさせる。</li> <li>「評価シート」の【初めの学習について】【読み取りについて】の評価欄に自己評価で記入させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>モアイについて興味をもって学習しようとしている。</li> <li>☆自分の知っていることについて積極的に発表しようとしている。</li> <li>◆モアイの存在を知らせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>音読しながら内容を確認するとともに、発問に対する答えとなる文を書き抜くことができる。</li> <li>☆時間内に読み取った内容をすべてシートに書くことができる。</li> <li>◆目印を付けた部分を手掛かりに読み取った文を書かせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>音読しながら読めない漢字を確認し、分からない言葉の意味を理解できる。</li> <li>☆前後の文脈から言葉の意味を類推できる。</li> <li>◆音読をしながら読めない漢字のルビをふらせる。</li> </ul>
見通し1 読み取り	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>「モアイは語る」の発問に対する読み取りが正確にできるようにする。</li> <li>「読み取りシート」の発問を確認する。</li> <li>○範読テープを聞きながら、おおよその内容を読み取る。</li> <li>○自分で本文を読み、「読み取りシート」に答えを書く。</li> <li>○全員で答えを確認する。</li> <li>○「評価シート」に記入する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>発問を理解し、構成を意識しながら、写真や図を対応させて、分かりやすい紙芝居を作ろうとしている。</li> <li>☆大事な言葉を押さえながら全体の内容を伝えるために工夫しようとしている。</li> <li>◆写真や図に対応している文に線を引かせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>六つの段落構成を意識し、本文から読み取った文章をもとに、写真や図に対応させた要約文を書くことができる。</li> <li>☆キーワードを落とさずに自分の言葉で分かりやすくまとめることができる。</li> <li>◆写真や図が何を表そうとしているか考えさせて、文中から探させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>段落構成を意識して、写真や図に関するキーワードに着目することができる。</li> <li>☆本文の抜き書きではなく自分の言葉に置き換えて書くことができる。</li> <li>◆読み取り発問から写真や図に対応するキーワードを押さえさせる。</li> </ul>
見通し2 読解	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>一人一枚を基本とするが、グループとしての作品であることを理解させ、できない生徒をみんなで補助して完成させる。</li> <li>○段落構成に着目させ、六つの写真と対応させながら、紙芝居の文章が重ならないように班で話し合わせる。</li> <li>○自分の担当した写真を持ちながら、「読解シート」に書いた要約文を読ませる。</li> <li>○聞き手には、話の筋が通っているか、内容が正確に伝わっているかどうか、という視点をもたせる。</li> <li>○班としての完成度の高い班を選ばせ、再度発表させる。</li> <li>○写真1が四つの問題提起、2から5は問題に対する四つの答え（根拠）、写真6が筆者の主張であることを押さえ、大きく三段落構成の文章であることを理解させる。</li> <li>○「評価シート」の【読解について】の評価欄に自己評価で記入する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>話し手は相手に分かりやすく内容を伝えようとし、聞き手はよさを認めながら聞くとしている。</li> <li>☆お互いが目的意識をもって伝え合おうとしている。</li> <li>◆グループの発表を聞いて、友達の助言を参考に自分の文章をまとめさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>グループでの発表をもとに、協力しながら構成を意識して文章を書き、発表することができる。</li> <li>☆根拠をもってよい文章を書いたり、助言したりして筋の通った作品にし、発表の仕方まで考えられる。</li> <li>◆できない子にはグループで協力して作品を作り、発表できるように支援させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>相手のよさを認め、要約において適切な言葉が使われているか判断できる。</li> <li>☆写真や図の説明だけでなく、紙芝居として話の筋が通っているか理解できる。</li> <li>◆紙芝居作りを通して、大切な言葉や要約の仕方を理解できるよう助言する。</li> </ul>
見通し3 表現	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の知っている環境問題を取り入れながら、根拠を明確にした意見文が書けるようにする。</li> <li>○前時の学習を六枚の写真で振り返る。</li> <li>○本時のねらいを確認する。</li> <li>○「表現シート」の自分1の欄に自分の意見を書く。</li> <li>○「表現シート」の交流の欄に、友達の意見をメモしながら意見を交流する。</li> <li>○「表現シート」の自分2の欄に、友達の意見を取り入れた自分の意見を書く。</li> <li>○数名が発表する。</li> <li>○読みから書きへの学習活動のねらいに沿って評価できるようにする。</li> <li>○「評価シート」に記入する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>発問を理解し、自分の内容、文章構成、筆者の主張の知識を振り返り意見をもととしている。</li> <li>☆本文の内容を踏まえた上で環境に関する体験や知識を簡潔に書くようとしている。</li> <li>◆イースター島の文明が崩壊した理由を想起させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>発問の内容を理解でき、モアイの立場で筆者の主張を取り入れながら自分の意見を書くことができる。</li> <li>☆本文をもとに、環境に関する自分の体験・知識を効果的な根拠として意見文を書くことができる。</li> <li>◆イースター島の失敗を繰り返さないためにどうするか考えさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>モアイの言葉で擬人化して文章構成を意識し、本文から根拠となるキーワードを用いて意見文を書くことができる。</li> <li>☆作品の文章構成を表現に生かすことができる。</li> <li>◆自分なりに感じたことを短い感想でまとめさせる。</li> </ul>
評価		<ul style="list-style-type: none"> <li>「評価シート」の【表現について】の評価欄に自己評価で記入させる。</li> <li>○「モアイは語る」の学習全体を振り返り、【学習についてのコメント】の欄に自由記述で感想を書かせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各段階及び今までの自分の取組を振り返り、自分の課題を明確にしようとしている。</li> <li>☆学習全体を振り返り、友達から学んだことも含めて課題をもち、次の学習に意欲的に取り組もうとしている。</li> <li>◆前時と比べて一つでも成長した点に目を向けさせる。</li> </ul>		

◇は、おおむね満足できる状況・態度


☆は、十分満足できる状況・態度

◆は、努力を要する状況への方策

【本時案】「モアイは語る」（4時間扱い）

第1時（見通し1にかかわる授業）

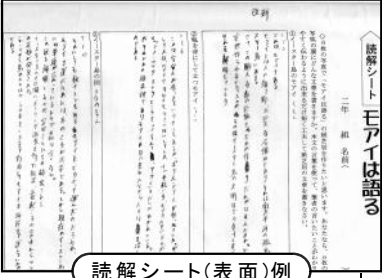
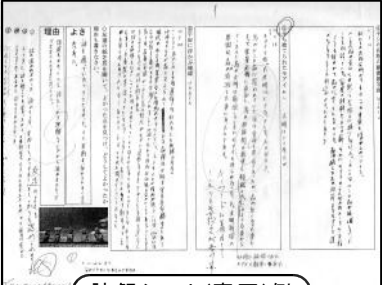
- (1) ねらい  
 ・モアイについて知っていることを発表し、学習に興味をもつようにする。  
 ・「モアイは語る」の発問に対する読み取りが正確にできるようにする。
- (2) 準備  
 教科書、「モアイは語る」学習シート、指名カード
- (3) 展開（3時間中の1時間目）

	学習活動	時間	学習への支援（○）及び留意点（※） 十分満足とする状況・態度の生徒への支援（◇）	評価規準 (評価方法)
導 入	1 本時のねらいを確認する。			
	モアイについて興味をもち、「モアイは語る」の内容を正確に読み取ろう。			
	2 「導入シート」でモアイの写真を見て、知っていることを発表する。	10	○「モアイ」という言葉を聞いたことのある生徒は多いと予想されるので、知っていることはどんなことでも自由に発表させる。 ※写真から予想できることを読み取らせてもよい。(高さ・材質・重さ…) ○「モアイは語る」という題名から、モアイが何を語るのかという問いかけをして読みへの意欲をもたせる。	【関・意・態】 モアイについて興味をもって学習しようとしている。 (観察：モアイについての発表の様子、写真から読み取れる情報の発表内容)
読 み 取 り	3 「読み取りシート」の発問を確認する。		○発問の意味が分からない生徒がいなければ確認する。	【読む】 音読しながら内容を確認するとともに、発問に対する答えとなる文を書き抜くことができる。
	4 範読テープを聞きながら、おおよその内容を読み取る。		○形式段落に分け、段落ごとに発問に対応させながら、内容を読み取る意識をもたせる。 ○答えに当たると思われる部分には、教科書に目印を付けさせる。 ※発問をすべて覚えている生徒はいないので、おおよその記憶で目印を付ければよいことを知らせる。	【言語事項】 音読しながら読めない漢字を確認し、分からない言葉の意味を理解できる。 (観察：学習への取組の姿勢、音読の様子、「読み取りシート」への書き込みの様子) (分析：「読み取りシート」の正答率、記述内容)
	 <p style="text-align: center;">読み取りシート例</p>		○全文を読みながら、発問で求められている情報を正確に読み取って書き抜かせる。 ◇早くできた生徒は、読み取りの遅い生徒を補助させる。	
	5 自分で本文を読み、「読み取りシート」に答えを書く。	37	○発問に対する答えに当たる部分を正確に抜き書きするようにさせる。 ※10問中何問できたか確認する。7問以上で合格とする。	
	6 全員で答えを確認する。		※指名カードでランダムに指名して答えさせる。	
評 価	7 「評価シート」に記入する。	3	○「評価シート」の【初めの学習について】【読み取りについて】の評価欄に自己評価で記入させる。	【関・意・態】 本時の学習を振り返り、評価しようとしている。 (分析：「評価シート」の自己評価の様子・記述内容)

【本時案】「モアイは語る」（４時間扱い）

第２・３時（見通し２にかかわる授業）

- (1) ねらい  
グループで協力し、教科書の六枚の写真を使って紙芝居を作ることができるようにする。
- (2) 準備  
教科書、「モアイは語る」学習シート、六枚の写真・図（紙芝居用）
- (3) 展開（４時間中の２・３時間目）

	学習活動	時間	学習への支援（○）及び留意点（※） 十分満足とする状況・態度の生徒への支援（◇）	評価規準 (評価方法)
導 入	【第１時】 1 本時のねらいを確認する。			
	教科書の六枚の写真を使って、「モアイは語る」の紙芝居を作ろう。			
読 解 ・ 交 流	2 六人グループを作る。	10	※場合によっては、五人の班もあるので、一人が二枚担当するようにさせる。	
	3 「読み取りシート」を参考にしながら、全文を六つの段落に分け、対応する写真を分担し、「読解シート」の欄に要約文を書く。	40	○一人一枚を基本とするが、グループとしての作品であることを理解させ、できない生徒をみんなで補助して完成させるようにする。 ○段落構成に着目させ、六つの写真と対応させながら、紙芝居の文章が重ならないように班で話し合わせる。 ※なるべく短い文章でキーワードを押さえて書くようにさせる。	【関・意・態】 発問を理解し、構成を意識しながら、写真や図に対応させて、分かりやすい紙芝居を作ろうとしている。 【読む】 六つの段落構成を意識し、本文から読み取った文章をもとに、写真や図に対応させた要約文を書くことができる。 【言語事項】 段落構成を意識して、写真や図に関するキーワードに着目することができる。 (観察：グループ活動の様子、「読解シート」への書き込みの様子)
	 読解シート(表面)例			
読 解 ・ 交 流	【第２時】 (前時の学習活動３の続きを行う。)	15	※でき上がったら班で全体を通して読ませ、話の筋が通っているか確認させる。 ◇早くできた班は、発表の練習をさせる。	(分析：「読解シート」の要約文の記述内容)
	4 できた作品を全体の前でグループごとに発表する。 5 一番分かりやすく書けた班を選ぶ。	20	○自分の担当した写真を持ちながら、「読解シート」に書いた要約文を読ませる。 ※写真の順番に並んで順に発表させる。 ○聞き手には、話の筋が通っているか、内容が正確に伝わっているかどうか、という視点をもたせる。 ○班としての完成度の高い班を選ばせ、再度発表させる。 ※どこがよいのか・なぜよいのか数名に発表させる。	【関・意・態】 話し手は相手に分かりやすく内容を伝えようとし、聞き手はよさを認めながら聞くようとしている。 【読む】 グループでの発表をもとに、協力しながら構成を意識して文章を書き、発表することができる。 【言語事項】 相手のよさを認め、要約において適切な言葉が使われているか判断できる。 (観察：発表の様子、「読解シート」への書き込みの様子)
	 読解シート(裏面)例			
	6 六枚の写真で文章構成を確認し、筆者の意見が最後の写真の要約文にまとめられていることを理解する。	10	○写真１が四つの問題提起、２から５は問題に対する四つの答え（根拠）、写真６が筆者の主張であることを押さえ、大きく三段落構成の文章であることを理解させる。	(分析：「読解シート」のよさの記述内容)
評 価	7 「評価シート」に記入する。	5	○「評価シート」の【読解について】の評価欄に自己評価で記入する。	【関・意・態】 本時の学習を振り返り、評価しようとしている。 (分析：「評価シート」の自己評価の様子、記述内容)

【本時案】「モアイは語る」（4時間扱い）

第4時（見通し3にかかわる授業）

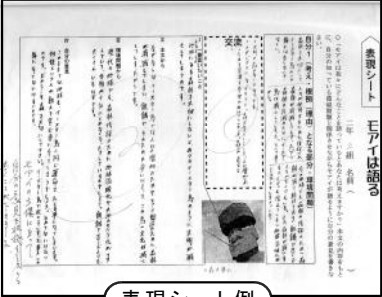

(1) ねらい

- ・自分の知っている環境問題を取り入れながら、根拠を明確にした意見文が書けるようにする。
- ・読みから書きへの学習活動のねらいに沿って評価できるようにする。

(2) 準備

教科書、「モアイは語る」学習シート、六枚の写真・図（板書掲示用）

(3) 展開（4時間中の4時間目）

	学習活動	時間	学習への支援（○）及び留意点（※） 十分満足とする状況・態度の生徒への支援（◇）	評価規準 (評価方法)
導入	1 前時の学習を六枚の写真で振り返る。	5	○六枚の写真を見せながら、話の内容、文章構成、筆者の主張の三点を確認する。	
	2 本時のねらいを確認する。			
<p>モアイは我々にどんなことを語っていると考えますか？ 自分の知っている環境問題も取り入れてモアイの立場で自分の意見を書きましょう。</p>				
表現・自分1	3 「表現シート」の自分1の欄に自分の意見を書く。  表現シート例	10	○「モアイは語る」という題名に戻り、どんなことを人間に語りたかったのか、自分の意見を簡潔にまとめて書かせる。  ※①語りたかったこと（考え） ②本文のどこから考えたか（根拠） ③知っている環境問題（知識）の三つのポイントで書かせる。	【関・意・態】 発問を理解し、自分の環境に対する体験や知識を振り返り意見をもととしていいる。 【読む】 発問の内容を理解でき、モアイの立場で筆者の主張を取り入れながら自分の意見を書くことができる。 【言語事項】 モアイの言葉で擬人化して文章構成を意識し、本文から根拠となるキーワードを用いて意見文を書くことができる。
交流	4 「表現シート」の交流の欄に、友達の意見をメモしながら意見を交流する。  グループ交流の様子	10	○自分1の意見を四人グループで発表し合い、お互いの意見を話し合わせる。 ※自分1にメモする言葉は短いので、書いていないことが友達に伝わるように説明させる。 ※聞く側も分からない部分を質問するようにさせる。 ◇特に環境問題についての知識は、個人差があるので、知らない生徒には、知っている生徒が教えてあげるようにさせる。	（観察：「表現シート」への書き込みの様子） （分析：「表現シート」の自分1・2の記述内容）
表現・自分2	5 「表現シート」の自分2の欄に、友達の意見を取り入れた自分の意見を書く。  6 数名が発表する。	20	○交流したことを生かしながら、自分2の欄に構成を意識して、意見文を書かせる。  ※前時のシートと構成は同様であるが、シートとしては項目のみ示しているので難しくなっていることに気付かせる。 ※書き方の分からない生徒には、仁和寺の「表現シート」で構成を確認させる。	
評価	7 「評価シート」に記入する。	5	○「評価シート」の【表現について】の評価欄に自己評価で記入させる。  ○「モアイは語る」の学習全体を振り返り、【学習についてのコメント】の欄に自由記述で感想を書かせる。	【関・意・態】 今までの学習を振り返り、自分の成長を受け入れ、次の学習に取り組もうとしている。 （分析：「評価シート」の自己評価の様子、記述内容）